

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(7/19)

文：武田、写真：倉谷、越野、山國、

日時：2020(令和2)年7月19日(日) 9:30~15:00

気象：晴

活動エリア：44林班ろ、東海自然歩道

活動内容：作業道整備(風倒木処理、落枝整理)、自然歩道の水切り整備

参加者：斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、黒山泰弘、越野雅美、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山國
会員 10名

<蓮始開(ハス ハジメ ヒラキ)>

「季節ごよみ」では19日は「蓮が夜明けにひっそりと咲く」頃と記されている。そんな涼しげな語感をよそに平地の気温は32.8℃(大阪)。湿度高く風もなく、顔合わせは「暑い!!」の挨拶から。

雨の心配がなさそうなのが唯一の救いかも？

天狗杉に沿った西側尾根には風倒木が残るが、日曜日はハイカーの往来多く、その安全の為、手を付けるのは今後に見送り、本山寺山山頂から南西に降る尾根道の整備を行う。

「44林班に」のモニタリング調査区に隣接する「44林班ろ」の尾根中300m程は作業道設置を計画している場所で、根起こし等、沢山の風倒木が道を遮っている。チェーンソー操作者二人の参加が心強い。勿論、いつも通りの「水切り溝」掘り返しも忘れずに。バテる前に早めの撤収。

注意事項①：整備する作業道の幅員は1m程度とする、処理木は道に平行に路肩に移す

注意事項②：コロナと熱中症対策(山中、作業時はマスク外し、打合せ・昼食時は間隔を開けて)

<今日の成果>

整備の起点をモニタリング調査区からと、中間150m地点から先の二組に分かれ作業開始。

チェーンソーは各一名が加わる。長く使われていなかったようで、落枝が目立ち風倒木は堂々と道を遮っている。どれも径30cmはある大物揃いで長さも10m超、運び易い大きさに切っていくが、それらの運搬に枝の処理と作業は大変。フウフウ言いながら、300mの間の倒木は処理完了

(10~15本)。路上の落枝などはもう少し除ける必要がありそう。今後をお楽しみに。

<写真編①>



<写真編②>

【風倒木が通せんぼ：作業中】



【左写真の作業後：先までスッキリ】



【作業起点付近の風倒木】



【鋸で「格闘」中】



【雨後のキノコ族(属)：ドクベニダケ】



【コトヒラ(琴平)シロテングタケ】



<写真編③>

【各自、離れてランチタイム】



【雨続きで自然歩道の溝はすぐに埋まる】



【玉切りした倒木は道の脇へ】



【左写真付近の処理後：足元スッキリ】



【口直しに如何：山の山椒も「ピリリ」と辛い？】



【チェーンソー：使い終わったら必ず手入れ】

